

# 玄海原発

# 再稼働へ

住民の理解って？

2017年4月22日 世耕経産大臣佐賀県訪問

(参考資料①)

世耕大臣との面談での発言

山口祥義 佐賀県知事

県民から直接寄せられた意見は、(中略) そのほとんどが再稼働に対して反対する意見でありました。

市長、町長からは、(中略) 住民の間には不安感が根強いこと、避難計画の実行性や周知がまだ十分でないことについて意見をいただいたところでもあります。

隣県の長崎県及び福岡県におきましても、3月15日から説明会が開催されましたので、本県からも職員を派遣し、そこでの意見を直接聞かせましたが、その多くが、再稼働に反対の意見だったと報告を受けております。

現に原発立地する自治体の長として、これに真摯に向き合う必要があると再認識したところでもあります。

参考資料

①佐賀県HP 「山口知事と世耕経済産業大臣との面談内容をお知らせします」

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00354810/index.html>

②佐賀県HP 「平成29年4月24日 知事臨時記者会見」

<http://www.saga-chiji.jp/kaiken/20170424/>

山口祥義 佐賀県知事

**県民の意見**には、福島事故を経験したことによる不安や心配の声が数多くあり、**原発立地県の知事として、緊張感を持って、真摯に向き合っていかなければならないと、決意を新たに**したところです。

多くの**市町長**に共通していたのは、安全性の確保に対する強い思い、そして国や事業者がきちんと説明責任を果たすべきとの思いでした。

隣県の**長崎県及び福岡県**においても、3月15日から説明会が開催されましたので、本県からも職員を派遣し、そこでの意見を直接聞かせ、その報告も受けています。

このような**県民の意見も踏まえて可決された県民の代表である県議会の決議**については、**極めて重いもの**と受け止めています。

**県議会決議**  
再稼働の必要性が認められるものと判断する

様々な意見、国及び事業者から示された方針や姿勢、そして**何よりも県議会の決議などを総合的に勘案し、**  
「今回の**再稼働**については、**原子力発電に頼らない社会を目指すという強い思いを持ちつつ現状においてはやむを得ない**」との判断をいたしました。

#### 最後に一言

『住民の理解』に注目して、わずか数日しか変わらない佐賀県知事の発言を並べてみました。22日の世耕大臣との面会時点では「反対意見が多い」とおっしゃってたんですが、それに「真摯に向き合った」結果、24日の会見で「再稼働はやむを得ない」と発表。住民が反対しても県レベルでは無視され、（沖縄は県レベルで反対しても国レベルでは無視されてますね。）大きなものの方針に反対するものは「無視」されるという構図はいろんなレベルで同じです。議論してもらえません。「無視」なんです。「無視」した挙句、反対していた人の言っていた結果になったとしても、恐らくそれを「無視」した人たちは開き直るだけです。。。。ってことは勝ち目ないなあ。結局「無視」できないほど盛り上げるしかありません。根拠のある筋の通った主張であることは大前提ですが、その表現方法には工夫が必要そうです。